

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	ビジネスマナー	授業時数合計 (単位数)	30 (2)
担当講師	田仲 智	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業では、就職活動時に必要なジョブカード、履歴書及び職務経歴経歴書の記入方法や面接対策等を行う。また職業倫理、労働法の基礎知識、接遇マナーを学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、就職活動時に必要なジョブカード、履歴書及び職務経歴経歴書の記入方法や面接対策等を行い、就職活動に向けた具体的な方法を学ぶ。		
回	担当者	項目	授業内容
1	田仲 智	ジョブカード	ジョブカードの書き方
2	田仲 智	履歴書	履歴書の書き方
3	田仲 智	職務経歴書	職務経歴書の書き方
4	田仲 智	職務経歴書	職務経歴書の書き方
5	田仲 智	就職活動	就職活動対策
6	田仲 智	就職活動	就職活動対策
7	田仲 智	就職活動	就職活動対策
8	田仲 智	面接	面接対策
9	田仲 智	面接	面接対策
10	田仲 智	テスト	面接テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、小テスト、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、就職活動時に必要なジョブカード、履歴書及び職務経歴経歴書の記入方法や面接対策等を行う。また職業倫理、労働法の基礎知識、接遇マナーを学び、就職を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	入社1年目ビジネスマナーの教科書	金森 たかこ	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	秘書実務	授業時数合計 (単位数)	45(3)
担当講師	高良	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	・医療機関の組織・運営・医学基礎知識、医療関連知識または、社会保険及び公費負担等について、テキストを用いて内容を深める。医療秘書として、それぞれの領域について高度な知識と技能をもち、複雑多岐な業を随行するための知識を身に着ける。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	テキストを基本として、随時DVD等の音声教材を取りいれながら実施。 授業後の復習として、録画映像を提供。		
回	担当者	項目	授業内容
1	高良	メディカルオフィスワーク①②	医療機関における組織、機能、倫理等について
2	〃	〃	医療機関における医療秘書の職務と役割等
3	〃	〃	医療情勢とそれを取り巻く社会情勢について
4	〃	〃	医療秘書としての知識、上司の補佐知識
5	〃	〃	情報の収集と管理、分析、処理するについて
6	〃	医療保険制度とクリニック	医療保険制度、社会保険制度、海外との違い等
7	〃	〃	患者接遇
8	〃	〃	初診料・再診料、医学管理について
9	〃	〃	投薬・処方箋、在宅医療等について
10	〃	〃	注射・処置など知識について
11	〃	〃	検査・画像診断について
12	〃	レセプトドリル	保険請求・レセプト
13	〃	〃	保険請求・レセプト
14	〃	〃	レセプト作成
15	〃	〃	総合復習・テスト
成績評価の基準・方法	試験方法:筆記試験 実施時期:第15回目の総合復習の授業後に実施。 学習参加態度、小テスト、提出物を総合して評価する。		
到達目標	1.医療に関する諸知識や社会福祉制度、及び医療従事者に関する知識の習得 2.医療組織やその運営に関する知識の習得 3.医療秘書としての職務と役割の習得		
参考書・教科書	書名	出版	
	メディカルオフィスワーク①②	ニチイ	
	医療保険制度とクリニック	ニチイ	
	レセプトドリル	ニチイ	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	応用中国語	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	松田 よしの	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、問題集を使用し、中国語の発音・文法を中心に中級中国語の前半部分を学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、問題集を使用し、問題形式で応用文法を学び、中国語の総合的な「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の四技能強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田 よしの	第一課	三封E-mail
2	松田 よしの	第一課	三封E-mail
3	松田 よしの	第二課	日記一篇
4	松田 よしの	第二課	日記一篇
5	松田 よしの	第三課	留学中国
6	松田 よしの	第三課	留学中国
7	松田 よしの	第三課	留学中国
8	松田 よしの	第四課	儿童语言学
9	松田 よしの	第四課	儿童语言学
10	松田 よしの	第四課	儿童语言学
11	松田 よしの	第五課	她是我们的女儿吗？
12	松田 よしの	第五課	她是我们的女儿吗？
13	松田 よしの	第五課	她是我们的女儿吗？
14	松田 よしの	第六課	颜色和性格
15	松田 よしの	第六課	颜色和性格
16	松田 よしの	第六課	颜色和性格
17	松田 よしの	第七課	唱片
18	松田 よしの	第七課	唱片
19	松田 よしの	第七課	唱片
20	松田 よしの	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、問題集、テストを総合して評価する。		
到達目標	問題集を数多く解く事で、中国語応用文法の基礎を固め、中級中国語の前半部分の習得を目指す。		
参考書・教科書	書名		著者名(出版社)
	博雅汉语 准中級加速篇		北京大学出版社

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	応用中国語作文	授業時数合計 (単位数)	60(4)
担当講師	諸見里 永玲	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、主に初めて中国語を学ぶ学生を対象とした授業である。本授業では、中級レベルの「書く力」を養う。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、中国語応用礎文法の基礎を固めると同時に、「書く力」強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	諸見里 永玲	第一課	ウォームアップ①・作文練習
2	諸見里 永玲	第一課	ウォームアップ①・作文練習
3	諸見里 永玲	第二課	ウォームアップ②・作文練習
4	諸見里 永玲	第二課	ウォームアップ②・作文練習
5	諸見里 永玲	第三課	「ある」・「いる」・作文練習
6	諸見里 永玲	第三課	「ある」・「いる」・作文練習
7	諸見里 永玲	第四課	疑問詞疑問文・作文練習
8	諸見里 永玲	第四課	疑問詞疑問文・作文練習
9	諸見里 永玲	第五課	疑問詞呼応構文・作文練習
10	諸見里 永玲	第五課	疑問詞呼応構文・作文練習
11	諸見里 永玲	第六課	動詞はどうした？・作文練習
12	諸見里 永玲	第六課	動詞はどうした？・作文練習
13	諸見里 永玲	第七課	「動目構造の動詞」は取れない目的語・作文練習
14	諸見里 永玲	第七課	「動目構造の動詞」は取れない目的語・作文練習
15	諸見里 永玲	第八課	動詞の重ね型・作文練習
16	諸見里 永玲	第八課	動詞の重ね型・作文練習
17	諸見里 永玲	第九課	文脈に隠れた代名詞・作文練習
18	諸見里 永玲	第九課	文脈に隠れた代名詞・作文練習
19	諸見里 永玲	第十課	副詞・作文練習
20	諸見里 永玲	テスト	作文テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、レポート、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、文法の練習問題及び作文練習の授業を行い、中級レベルの「書く力」習得を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	作文ルール66 日中翻訳技法	相原茂	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	応用中国語聴解	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	李 程	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業では、日本人にとって最も苦手を言われているリスニングを強化する。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	日本人がリスニングが苦手な主な原因として、耳が中国語の音やリズムに慣れていない事、その言葉がまだきちんと身についていない事が挙げられる。そういった原因から、本授業では、テキストとCDを使用し、口に出す練習を行う事で、リスニング力強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	李 程	第一课	校园生活
2	李 程	第一课	校园生活
3	李 程	第二课	饮食
4	李 程	第二课	饮食
5	李 程	第二课	饮食
6	李 程	第三课	购物
7	李 程	第三课	购物
8	李 程	第三课	购物
9	李 程	第四课	寻求帮助
10	李 程	第四课	寻求帮助
11	李 程	第五课	休闲娱乐
12	李 程	第五课	休闲娱乐
13	李 程	第五课	休闲娱乐
14	李 程	第六课	交通状况
15	李 程	第六课	交通状况
16	李 程	第六课	交通状况
17	李 程	第七课	婚姻与家庭
18	李 程	第七课	婚姻与家庭
19	李 程	第七课	婚姻与家庭
20	李 程	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、リスニングテスト、小テスト、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、リスニング練習中心の授業を行い、中級レベルのリスニング力を習得する。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	漢語聴力速成 提高編	北京语言大学出版社	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	応用中国語会話	授業時数合計 (単位数)	60 (4)
担当講師	諸見里 永玲	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業では、中国での日常生活でよく話される話題を取り上げ、発音、文法、単語や文の意味など、各方面の中級中国語を総合的に学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では教科書を使用し、ペア練習を取り入れ、中国語で表現する力及び中国語によるコミュニケーション力を強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	諸見里 永玲	第一课	不同的文化
2	諸見里 永玲	第一课	不同的文化
3	諸見里 永玲	第二课	父母与子女
4	諸見里 永玲	第二课	父母与子女
5	諸見里 永玲	第二课	父母与子女
6	諸見里 永玲	第三课	让孩子吃苦
7	諸見里 永玲	第三课	让孩子吃苦
8	諸見里 永玲	第三课	让孩子吃苦
9	諸見里 永玲	第四课	拾金不昧要不要回报
10	諸見里 永玲	第四课	拾金不昧要不要回报
11	諸見里 永玲	第五课	邻居关系
12	諸見里 永玲	第五课	邻居关系
13	諸見里 永玲	第五课	邻居关系
14	諸見里 永玲	第六课	夫妻之间
15	諸見里 永玲	第六课	夫妻之间
16	諸見里 永玲	第六课	夫妻之间
17	諸見里 永玲	第七课	家庭服务员
18	諸見里 永玲	第七课	家庭服务员
19	諸見里 永玲	第七课	家庭服务员
20	諸見里 永玲	テスト	テスト
成績評価の基準・方法	学習参加態度、リスニングテスト、小テスト、テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業では、日常会話ができ、生徒自ら自発的に中国語で伝えるコミュニケーション力を習得する。		
参考書・教科書	書名		著者名(出版社)
	漢語聴力速成 提高編		北京语言大学出版社

授業期間		2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名		中国語検定対策Ⅲ(2級)	授業時数合計 (単位数)	105(7)
担当講師		諸見里 永玲	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)		本授業は、中国語検定2級対策の授業である。本授業では、過去問の「出題項目」と「出題頻度」を考慮し、効率的に合格点を取る為の対策授業を行う。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)		本授業では、過去問集を多く解き、日本人にとって間違いやすい「出題項目」を一つ一つクリアし、上級中国語の基礎固めを図る。		
回	担当者	項目	授業内容	
1	諸見里 永玲	過去問題第97回	2級中国語検定過去問第97回・単語練習	
2	〃	過去問題第97回	2級中国語検定過去問第97回・解説	
3	〃	過去問題第96回	2級中国語検定過去問第96回・単語練習	
4	〃	過去問題第96回	2級中国語検定過去問第96回・解説	
5	〃	過去問題第95回	2級中国語検定過去問第95回・単語練習	
6	〃	過去問題第95回	2級中国語検定過去問第95回・解説	
7	〃	過去問題第94回	2級中国語検定過去問第94回・単語練習	
8	〃	過去問題第94回	2級中国語検定過去問第94回・解説	
9	〃	過去問題第93回	2級中国語検定過去問第93回・単語練習	
10	〃	過去問題第93回	2級中国語検定過去問第93回・解説	
11	〃	過去問題第92回	2級中国語検定過去問第92回・解説	
12	〃	過去問題第91回	2級中国語検定過去問第91回・単語練習	
13	〃	過去問題第91回	2級中国語検定過去問第91回・解説	
14	〃	過去問題第90回	2級中国語検定過去問第90回・単語練習	
15	〃	過去問題第90回	2級中国語検定過去問第90回・解説	
16	〃	過去問題第89回	2級中国語検定過去問第89回・単語練習	
17	〃	過去問題第89回	2級中国語検定過去問第89回・解説	
18	〃	過去問題第88回	2級中国語検定過去問第88回・単語練習	
19	〃	過去問題第88回	2級中国語検定過去問第88回・解説	
20	〃	解答解説	2級検定受験後解説	
成績評価の基準・方法		学習参加態度、小テストを総合して評価する。		
到達目標		本授業は、中国語検定2級「過去問題集」を多く解き、日本人にとって間違いやすい「出題項目」を一つ一つクリアし、2級合格レベルの中国語力を習得。		
参考書・教科書		書名	著者名(出版社)	
		中国語検定2級過去問題	スペースチャイナ外語学院	
		中検対策単語集2級編	スペースチャイナ外語学院	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	医療通訳概論 I	授業時数合計 (単位数)	60(4)
担当講師	松島	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	・厚生労働省が定める「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠に基づき医療現場で必要とされる機能、医療通訳者の役割、持つべき知識や技能、倫理の習得		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠を用いて、必要に応じてYUUTYU-BUの現場映像、DVD映像等随時使用。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松島	医療通訳学習テキスト	通訳理論(1)～(6)
2	〃	〃	対話式通訳と相互作用、医療通訳者の役割
3	〃	〃	対話式通訳と相互作用、医療通訳者の役割
4	〃	〃	医療通訳の重要性、日本医療における医療通訳の歴史
5	〃	〃	医療通訳の重要性、日本医療における医療通訳の歴史
6	〃	〃	日本医療通訳の現状、専門職の確立に向けて
7	〃	〃	日本医療通訳の現状、専門職の確立に向けて
8	〃	〃	理解力強化(シャドーイング・トランスクリプション)
9	〃	〃	理解力強化(シャドーイング・トランスクリプション)
10	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
11	〃	〃	記憶力強化(ラギング・リテンション・リプロダクション)
12	〃	〃	記憶力強化(ラギング・リテンション・リプロダクション)
13	〃	〃	伝達力強化(パラフレージング)
14	〃	〃	伝達力強化(パラフレージング)
15	〃	〃	ノートテイキングの原則、情報の収集方法
16	〃	〃	ノートテイキングの原則、情報の収集方法
17	〃	〃	医療倫理、患者の権利、医療通訳者の行動規範
18	〃	〃	医療倫理、患者の権利、医療通訳者の行動規範
19	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
20	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
成績評価の基準・方法	試験方法:筆記試験 実施時期:試験期間外 学習参加態度、小テスト、提出物を総合して評価する。		
到達目標	1.医療、保険及び入国制度分野における必要な関連知識習得 2.異文化に対する理解と対処法の習得 3.医療通訳としての立ち位置、倫理関連知識の習得		
参考書・教科書	書名	出版	
	医療通訳者育成カリキュラム	厚生労働省	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	医療知識(病理) I	授業時数合計 (単位数)	90(6)
担当講師	松田、松島	担当講師の該当科目 実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	・厚生労働省が定める「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠に基づき医療現場で必要とされる機能、医療通訳者の役割、持つべき知識や技能、倫理の習得		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠を用いて、必要に応じてYUUTYU-BUの医療映像、DVD映像等随時使用。		
回	担当者	項目	授業内容
1	松田	医療通訳学習テキスト(3h)	人体解剖図「人体各部位」「骨格各部位」「関節・骨各部位」
2	〃	〃 (3h)	〃 「消化器」「呼吸器」「心臓」「動静脈・リンパ」「泌尿器」
3	〃	〃 (3h)	〃 「生殖器談・女」「出産と乳房」「自律神経」「脳・皮膚」
4	〃	〃 (3h)	〃 「眼・耳」「口腔・歯」「内分泌・血管」
5	〃	〃 (6h)	消化器系疾患27～30原因、症状、検査、治療、予防
6	〃	〃 (6h)	消化器系疾患31～34原因、症状、検査、治療、予防
7	〃	〃 (6h)	消化器系疾患35～37原因、症状、検査、治療、予防
8	〃	〃 (6h)	消化器系疾患38～40原因、症状、検査、治療、予防
9	〃	〃 (3h)	消化器系疾患41、42原因、症状、検査、治療、予防
10	〃	〃 (3h)	消化器系疾患43、44原因、症状、検査、治療、予防
11	〃	〃 (3h)	中間まとめ復習、解説、個別指導
12	〃	〃 (3h)	中間まとめ復習、解説、個別指導
13	〃	〃 (6h)	呼吸器系疾患14～17原因、症状、検査、治療、予防
14	〃	〃 (6h)	呼吸器系疾患18～20原因、症状、検査、治療、予防
15	〃	〃 (6h)	呼吸器系疾患21～23原因、症状、検査、治療、予防
16	〃	〃 (6h)	呼吸器系疾患24～27原因、症状、検査、治療、予防
17	〃	〃 (6h)	筋・骨格系疾患45～48原因、症状、検査、治療、予防
18	〃	〃 (6h)	筋・骨格系疾患49～52原因、症状、検査、治療、予防
19	〃	〃 (3h)	まとめ復習、解説、個別指導
20	〃	〃 (3h)	まとめ復習、解説、個別指導
成績評価の基準・方法	試験方法:筆記試験 実施時期:試験期間外 学習参加態度、小テスト、提出物を総合して評価する。		
到達目標	1.医療系中国語の用語・用例を習得し、これに関しての中国語を正確且つスムーズに読むことができる。 2.病理に関する基本的な会話ができ、中国語で表現することが出来る。 3.医療中国語の映像を見て、その内容を正確に聞き取ることが出来る。		
参考書・教科書	書名	出版	
	医療通訳者育成カリキュラム	厚生労働省	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	医療通訳実技 I	授業時数合計 (単位数)	90(6)
担当講師	諸見里、李程	担当講師の該当科目 実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	・厚生労働省が定める「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠に基づき医療現場で必要とされる機能、医療通訳者(初級)としての実技の習得		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	・「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠を用いて、必要に応じてYUUTYU-BUの医療映像、DVD映像等随時使用。医療通訳中国語テキストを使用する。		
回	担当者	項目	授業内容
1	諸見里	医療通訳中国語テキスト	基礎編第1課:消化器関連用語・フレーズ
2	〃	〃	基礎編第1課:消化器関連用語・フレーズ
3	〃	〃	基礎編第2課:骨格・関節関連用語・フレーズ
4	〃	〃	基礎編第2課:骨格・関節関連用語・フレーズ
5	〃	〃	基礎編第3課:呼吸器系関連用語・フレーズ
6	〃	〃	基礎編第3課:呼吸器系関連用語・フレーズ
7	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
8	〃	〃	基礎編第4課:循環器系関連用語・フレーズ
9	〃	〃	基礎編第4課:循環器系関連用語・フレーズ
10	〃	〃	基礎編第5課:目・耳・皮膚関連用語・フレーズ
11	〃	〃	基礎編第5課:目・耳・皮膚関連用語・フレーズ
12	〃	〃	基礎編第6課:泌尿器・生殖器関連用語・フレーズ
13	〃	〃	基礎編第6課:泌尿器・生殖器関連用語・フレーズ
14	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
15	李程	〃	消化器関連ロールプレイング
16	〃	〃	呼吸器系関連ロールプレイング
17	〃	〃	循環器系ロールプレイング
18	〃	〃	耳鼻科系関連ロールプレイング
19	〃	〃	泌尿器系関連ロールプレイング
20	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
成績評価の基準・方法	試験方法:筆記試験 実施時期:試験期間外 学習参加態度、小テスト、提出物を総合して評価する。		
到達目標	1.医療系中国語の用語・用例を習得し、これに関しての中国語を正確且つスムーズに読むことができる。 2.関連用語・フレーズ集に関連する会話が中国語で表現することが出来る。 3.中国人患者と医療従者の会話を訳すことができる。		
参考書・教科書	書名	出版	
	医療通訳者育成カリキュラム	厚生労働省	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション科2年生
科目名	医療通訳実技Ⅱ	授業時数合計 (単位数)	90(6)
担当講師	諸見里、李程	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	・厚生労働省が定める「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠に 基づき医療現場で必要とされる機能、医療通訳者(初級)としての実技の習得		
授業方法 (講義・演習・実習・ <u>実技</u>)	・「医療通訳育成カリキュラム基準 平成29年9月版」準拠を用いて、必要に応じて YUUTYU-BUの医療映像、DVD映像等随時使用。 ・医療通訳中国語テキスト		
回	担当者	項目	授業内容
1	諸見里	医療通訳中国語テキスト	基礎編第7課:神経・内分泌関連用語・フレーズ
2	〃	〃	基礎編第7課:神経・内分泌関連用語・フレーズ
3	〃	〃	基礎編第8課:薬・感染症関連用語・フレーズ
4	〃	〃	基礎編第8課:薬・感染症関連用語・フレーズ
5	〃	〃	基礎編第9課:検査関連用語・フレーズ
6	〃	〃	基礎編第9課:検査関連用語・フレーズ
7	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
8	〃	〃	応用編1:病院手続き関連用語・フレーズ
9	〃	〃	応用編1:病院手続き関連用語・フレーズ
10	〃	〃	応用編2:消化内科関連用語・フレーズ
11	〃	〃	応用編2:消化内科関連用語・フレーズ
12	〃	〃	応用編3:神経内科関連用語・フレーズ
13	〃	〃	応用編3:神経内科関連用語・フレーズ
14	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
15	李程	〃	病院手続き関連ロールプレイング
16	〃	〃	消化内科関連ロールプレイング
17	〃	〃	消化内科関連ロールプレイング
18	〃	〃	神経内科関連ロールプレイング
19	〃	〃	神経内科関連ロールプレイング
20	〃	〃	まとめ復習、解説、個別指導
成績評価の基準・方法	試験方法:筆記試験 実施時期:試験期間外 学習参加態度、小テスト、提出物を総合して評価する。		
到達目標	1.医療系中国語の用語・用例を習得し、これに関しての中国語を正確且つ スムーズに読むことができる。 2.関連用語・フレーズ集に関連する会話が中国語で表現することが出来る。 3.中国人患者と医療従者の会話を訳すことができる。		
参考書・教科書	書名	出版	
	医療通訳者育成カリキュラム	厚生労働省	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション2年生
科目名	観光英語Ⅱ	授業時数合計 (単位数)	60 (3)
担当講師	William Dunkley	担当講師の該当科目 の実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	本授業は、観光産業を柱とする沖縄観光人材育成する為の授業である。様々な観光スポットで外国人観光客への接客の際に使用する接客中国語を学ぶ。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	本授業では、様々なシーンを想定した2人1組のペア練習を行う。ペア練習を通して、生徒自ら自発的にコミュニケーションする力や表現力強化を図る。		
回	担当者	項目	授業内容
1	William Dunkley	レストラン・居酒屋	おススメのお店を紹介するに関する用語・フレーズ
2	William Dunkley	〃	注文を手伝うに関する用語・フレーズ
3	William Dunkley	〃	お通し・おつまみに関する用語・フレーズ
4	William Dunkley	〃	日本の料理を説明するに関する用語・フレーズ
5	William Dunkley	〃	食べられないものについてに関する用語・フレーズ
6	William Dunkley	〃	注文方法を教えるに関する用語・フレーズ
7	William Dunkley	ラーメン店	注文の仕方に関する用語・フレーズ
8	William Dunkley	〃	トッピングに関する用語・フレーズ
9	William Dunkley	〃	ラーメンの種類に関する用語・フレーズ
10	William Dunkley	〃	まとめ復習、個別指導
11	William Dunkley	スーパー・コンビニ	スーパーでに関する用語・フレーズ
12	William Dunkley	〃	コンビニでに関する用語・フレーズ
13	William Dunkley	地震の時	小さな地震に関する用語・フレーズ
14	William Dunkley	〃	大きな地震に関する用語・フレーズ
15	William Dunkley	〃	身を守るに関する用語・フレーズ
16	William Dunkley	〃	自信の後にに関する用語・フレーズ
17	William Dunkley	〃	避難するに関する用語・フレーズ
18	William Dunkley	事故の時	救急車を呼ぶに関する用語・フレーズ
19	William Dunkley		まとめ復習、解説、個別指導
20	William Dunkley		まとめ復習、解説、個別指導
成績評価の基準・方法	学習参加態度、小テストを総合して評価する。		
到達目標	本授業で、現場を想定した実践的ペア練習・発表を通して、観光業で活躍する為の接客英語習得を目指す。		
参考書・教科書	書名	著者名(出版社)	
	日本で外国人を見かけたら使いたい 英語フレーズ3000	クロスメディア・ランゲージ	

授業期間	2019年度	授業対象	医療コミュニケーション2年生
科目名	実習Ⅱ	授業時数合計 (単位数)	60(2)
担当	久田 秀行	担当講師の該当科目 実務経験有無	有
授業内容 (科目概要)	県内企業にてインターンシップを行う。積極的に外国人観光客とコミュニケーションを図る。		
授業方法 (講義・演習・実習・実技)	県内企業に出向いて、見学及び見習い		
回	担当者	項目	授業内容
1	久田 秀行	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
2	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
3	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
4	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
5	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
6	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
7	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
8	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
9	〃	インターンシップ(6h)	県内企業において、インターンシップ
10	〃	発表(6h)	インターンシップ発表
成績評価の基準・方法	就業態度、レポート提出物、発表を総合して評価する。		
到達目標	県内企業にてインターンシップを行う。外国人観光客との対話を通して、実践力・コミュニケーション力を習得する。		
参考書・教科書	書名		出版